

事業全般に関する意見	
・特定の実行委員だけ負担が大きい現状があるので、全委員に何らかの活動をしてもらう	中條副会長
・神楽まち協の地域で必要な取り組み意見等が出ないということは、色々な事に満足しているということかもしれないが、今までとは考える視点や見方を変える必要がある	中條副会長
・各事業の活動状況があまりわからないので、年2回ほどミーティング等で各事業を知る機会があるとよい	浅野委員
・現行事業は6～8年継続しており、課題解決に向け一定の成果、実績があるが、事業として固定化し硬直化している	神田委員
・事業が地域の課題解決になっているのか、ニーズが当初から変更ないのかなど事業の目的や役割から次の段階へ移行するためには見極めが必要	神田委員
・資金面について自己負担は通常のことであり、まち協の補助金だけで運営するには無理がある、また、他の補助金制度等が利用できないか検討の余地はある	神田委員
まち協に関する意見	
・まち協委員について、校長先生は多忙で実際に委員として活動するのは難しいと思うので「アドバイザー」「顧問」のような方がよいのではないかと	宮嶋委員
・公募委員の募集について、まちづくりのアイデア、夢、計画等の簡単な作文を提出してもらう	宮嶋委員
・会議についてざくばらんな座談会形式で行うと出席者は発言しやすい	宮嶋委員
・旭川医科大学主催の「健康セミナー」は住民・生徒双方にとって有意義	阿部委員
・まち協委員は各団体推薦の2年任期であり、事業継続または目的ではなく課題解決のための見通しを示し2年間で結果を示すことが必要	神田委員